



知って備える 防災メモ

第96回



雪による被害を受けけないためにすべきこと

北海道においては、発達した低気圧が北海道付近を通過したときや、西高東低の冬型の気圧配置で季節風が強まったときなどに、暴風雪や大雪が発生することが多く、交通障害や停電などが毎年のように生じています。

しかし、大雪や暴風雪は、気象情報などで、発生がある程度予想できるもの。可能な限り被害に遭わないよう日頃から情報収集に努めましょう。

気象情報をとまめに確認

情報化が進む現在において、気象情報は、テレビや新聞、インターネットなど、さまざまな媒体で確認することができます。テレビのデータ放送や気象庁のウェブサイトは、速報性にも優れており、現在、警報や注意報が発表されているかどうかも確認できます。

一時的には天気がよく見えても、突如として荒天となり、数メートル先が見えなくなったりする場合がありますので、外出前に気象情報の確認を習慣づけ、暴風雪などからの被害をできるだけ小さくしましょう。

また、市は「登別市防災メール」で

警報発表などの気象情報も配信していますので、ぜひご利用ください。



停電への備え

情報発信の媒体の多くは、電気を使用しており、停電時は、情報収集が普段よりも難しくなります。また、自然災害に伴い発生した停電は長期化する傾向があるため、備えが重要となります。

携帯に優れているラジオは、手回し充電や電池で動くものもあり、また、地域情報が充実したコミュニティFM『FMびゅ〜』では、災害発生時に、市内の状況や避難所の開設情報を聞くことができるなど、災害発生時の有効な情報収集手段の一つです。さまざまな災害への備えとして、1つの媒体に頼らず、平時から、複数の情報収集手段を確保してください。

▼問い合わせ
総務グループ (☎01130)

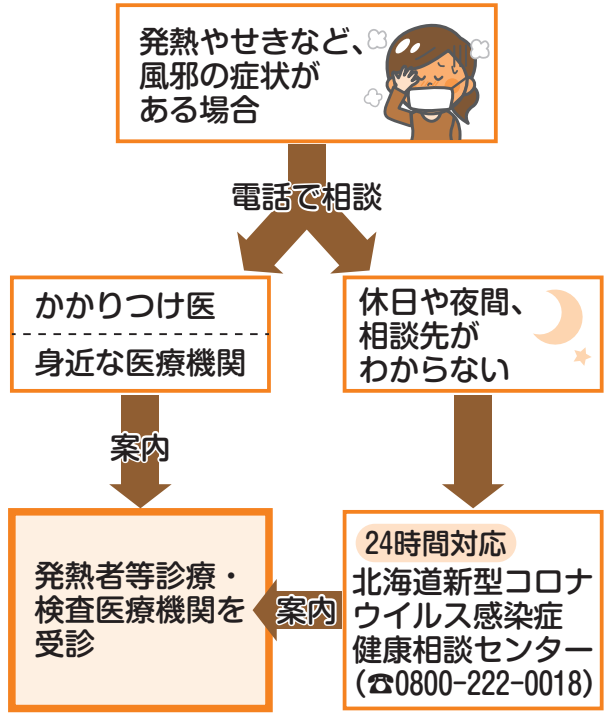
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために

▶問い合わせ 健康推進グループ (☎0100)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まりません。感染対策を徹底することは、他人に感染させないだけでなく、自分や家族を守ることもつながります。

今一度、基本的な感染予防である『3つの密（密閉・密集・密接）』の回避、マスクの着用（咳エチケット）、石けんによる手洗いや手指の消毒の徹底に加え、室温が下がりすぎないように注意しながら、定期的な換気をお願いします。

発熱などの症状がある場合の相談・受診の流れ



感染リスクが高まる『5つの場面』に注意

- ① 飲酒を伴う懇親会など…飲酒により気分が高揚し、注意力が低下しがちに。
- ② 大人数・長時間の食事…人数が増えるほど大声になり、飛沫も飛びやすく、時間も長くなるほど感染リスクが高まります。
- ③ マスク無しでの会話…マスクをせずに近距離で会話することで、飛沫感染のリスクが高まります。車やバスでの移動中も注意が必要。
- ④ 狭い空間での共同生活…寮生活などにおいて、特にトイレなどの共用部分が要注意。
- ⑤ 居場所の切り替わり…工作中的の休憩時間など、休憩室や更衣室、喫煙所などに移動した際に気が緩み、マスクを外したまま過ごすことで、感染リスクが高まります。